

2017

9.21 THU

9.22 FRI

FALLING GOOD SUN

17:00



大橋可也 & ダンサーズ
ザ・ワールド 2017

豊洲シビックセンターホール

日が沈むと忘れる。

2017

9.21 THU

9.22 FRI

BAD MOON RISING

19:30



大橋可也 & ダンサーズ
ザ・ワールド 2017

豊洲シビックセンターホール

月が昇ると思い出す。

2017	9.21 (木)	9.22 (金)
FALLING GOOD SUN	17:00	17:00
BAD MOON RISING	19:30	19:30

受付開始は開演時間のそれぞれ30分前。
 FALLING GOOD SUNの上演時間は2時間程度を予定(途中入場可)。
 BAD MOON RISINGの上演時間は1時間程度を予定。

豊洲シビックセンターホール

東京都江東区豊洲2-2-18 豊洲シビックセンター5F
 東京メトロ有楽町線豊洲駅7番出口より徒歩1分/新交通ゆりかもめ豊洲駅改札フロア直結

会場	料金
U29 (29歳以下)	3000円
一般	3500円
当日	4000円
通し券	4000円
通し券当日	6000円

通し券はFALLING GOOD SUN、BAD MOON RISINGの2作品を続けてご覧いただけます。
 いずれのチケットも、「ザ・ワールド2017 リサーチドキュメント」が付いています。

チケット 大橋可也&ダンサーズ Webサイト dancehardcore.com

Peatix peatix.com

発売日 2017.8.11

出演：
 皆木正純 後藤ゆう 山本晴歌
 伊藤雅子 田端春花 秋山実優
 樋口帆波 高澤李子 高橋由佳
 中原貴美子 牧祥子 近藤康弘

振付・構成・演出：大橋可也
 ドラマトゥルク：長島確
 音楽：涌井智仁
 映像：吉開菜央

衣装：るう (ROCCA WORKS)
 照明：筆谷亮也
 音響：牛川紀政
 舞台監督：原口佳子 (モリブデン)
 制作：滝沢優子
 協力：横山八枝子 古郡稔

リサーチャー：
 加藤雄大 小林あずさ 坂上翔子
 伊藤雅子 高橋大斗 滝野原南生
 リサーチドキュメントデザイン：石塚俊

フライヤーデザイン：agasuke

主催：一般社団法人大橋可也&ダンサーズ



助成：

協力：公益財団法人セゾン文化財団

ザ・ワールドについて

大橋可也 & ダンサーズとドラマトゥルク長島確によって、2013年より始動。《土地の記憶を吸う吸血鬼》をモチーフに、2020年の東京オリンピックに向けて変貌する江東区内でのリサーチに基づいてダンス作品をつくるプロジェクト。2014年3月に、森下スタジオにてパフォーマンス作品『ザ・ワールド [A]』を上演、牡丹町商店街会館にてインスタレーション/トーク『ザ・ワールド [B]』を発表。2015年3月は、清澄白河から東陽町のエリアにかけて、散歩型作品『クラウドッド』と、白井剛をダンサーに迎えた劇場型作品『ヘヴィメタル』を上演、江東区民へのインタビューを読み物にした冊子『ザ・ワールドからの声』を発表。今回が3期目の活動となる。

大橋可也 & ダンサーズ (おおはしかくやあんどだんさーず)

1999年、結成。土方巽直系の暗黒舞踏の振付法を基に現代社会における身体を問うダンスカンパニー。代表作に、秋葉原連続殺傷事件に想を得た『帝国、エアリアル』(2008年・新国立劇場)、飛浩隆の長編小説を題材にした『グラン・ヴァカンス』(2013年・シアタートラム)。2016年には、SF作家長谷敏司とのコラボレーション『プロトコル・オブ・ヒューマニティ』を発表。

問い合わせ：大橋可也 & ダンサーズ

dancehardcore.com

office@dancehardcore.com

03-6905-9264

ガラス張りの劇場に沈む太陽と昇る月。
 《土地の記憶を吸う吸血鬼》をモチーフにした
 パフォーマンスプロジェクト「ザ・ワールド」。
 豊洲を舞台に、FALLING GOOD SUN / BAD MOON RISING の2作品を上演。
 豊洲は過去を(わずかしか)もたない土地だ。
 100年も遡れば海しかなくなる。
 薄い、薄い、皮膚のような土地。
 そこに夜が来る。
 過去がなければ、夢を見ればよいのか。
 他人の記憶や、架空の過去でも、自分のものにできるだろうか。

